



会報 第82号
令和5年4月1日発行

新構造社

一般社団法人 新構造社
〒111-0032 東京都台東区浅草 5-33-1
電話・FAX 03-5808-9976
http://shinkozo.or.jp
E-mail shinkozo@wa3.so-net.ne.jp



第94回新構造展
……P2

第11期事業報告・決算
第12期事業計画・予算
……P5

各部の活動状況報告と
今年の抱負
……P9

全国支部活動状況報告
……P11

トピックス・個展情報
……P16

作家の軌跡
……P17

理事会等報告・
お知らせ
……P18

変事の中の芸術文化



理事長
中谷時男

第94回新構造展は国立新美術館で開催された。創立以来、大変お世話になっていた上野の都美館から六本木の国立新美術館に会場を移し、会期も6月から11月に変更し、新しい新構造社の始まりでありました。

新しい会場は広く、高く、明るく作品をそれぞれ際立たせてくれ、十分に満足させてくれました。展示期間は少し長くなりましたが、役員はじめ多くの会員の協力が無事閉じることができました。新しい新構造展の成功、誠にありがとうございます。

令和の新しい時代の入り口から大きな自然災害に見舞われ、未だコロナ禍の中、いま世界は戦火による災害が重なり変動の時であります。その中で私達、创作者は如何に成し、果たすべきか、真摯に立ち向かわなければならない。

令和5年は美術界も変動の時であります。各種の災害に加え美術愛好者の高齢化による会員の減少等の問題を抱えております。器(組織)の中、物(人)は少しの揺れや歪みでより強固なものになります。

今こそ普通という言葉の尊さと有難さを強く感じています。「どんな時でもその時々を大切にしたい」そう思います。



中谷 時男 展「続くスケッチの旅2023」 一枚の絵

第94回新構造展

1. 概況

第94回の新構造展は、これまでの東京都美術館から待望の国立新美術館に移って、2022年11月30日から12月12日まで開催されました。



コロナ禍の中ではありましたが、前回に引き続き適切な感染防止対策を取った上での開催となりました。11月19日の搬入から始まり、2日に亘る審査そして29日展示後に開催日を迎え授賞式も滞りなく実施することができました。

出品点数は一般応募も含め370点(308名)で、昨年に比べ25点ほど減少しましたが、一般出品(小品含む)が98名(昨年に

23名増)129点と多くの応募がありました。これも新美術館の効果かと考えておりませう。

新展示場では5部門総合展として、また第1室に小鹿良太氏(彫刻)の遺作展も合わせて行い、連日多くの参観者で賑わいました。来場者については、若い方や外国人が多く、前回に比べ倍増の7,500人程の参観者でした。会場移転にも拘らず14日間無事、成功裏に本展開催できましたことに心から感謝申し上げます。



展示



絵画部審査



外部審査(清水氏、勅使河原氏、中野氏)



搬入受付

2. 第94回新構造展受賞者

新構造内部賞

新構造賞 絵画部 佐伯孝之
新構造賞 版画部 石黒妙子

外部賞

内閣総理大臣賞 絵画部 高橋美奈子
文部科学大臣賞 絵画部 沖政長公
厚生労働大臣賞 工芸部 川上千尋
東京都知事賞 絵画部 小林満風

特選・特別賞

何徳賞 絵画部 国光美津恵
本目賞 絵画部 竹内知己
三枝賞 絵画部 藤岡節子
清浦賞 絵画部 末田初太郎
徳山賞 絵画部 菊地陸美
秋山賞 版画部 早坂宗太郎

特別賞

功労賞 小川昭造

絵画部会員賞

会員賞 浅地富恵子
会員賞 前澤宮内
会員賞 湯浅ふさ子

絵画部会員スポンサー賞

キャンパス青山賞 伊藤静枝
全日本美術新聞社賞 佃日出雄

クサカベ賞 吉野實
世界堂賞 津郷正敏
東美賞 高橋登
彩美堂賞 野口美佐子

絵画部準会員賞

奨励賞・ターレスジャパン賞 尾崎禮子
イタヤマ・メイク世界堂賞 森木愛琥

絵画部会友賞

奨励賞・松田絵具賞 二葉のりえ
彩美堂賞 高橋訓子
松田絵具賞 渡辺紀久子

絵画部一般賞

奨励賞 大高浩美
奨励賞 野本龍一
奨励賞 青木友美
奨励賞 西本理豊
クサカベ賞 吉田聖子
東洋クロス賞 平田淳子
ホルベイン工業賞 倉持智行

版画部賞

会員賞 木滝巖
一般奨励賞 池田有希

彫刻部賞

準会員奨励賞 小田切恵子

工芸部賞

工芸撰賞 小林紀代子
会員賞 白井麻美子

会員賞 横尾元子
準会員奨励賞 佐藤由香子
会友奨励賞 鈴木陽子
一般奨励賞 木綿一男子
ふじや賞1 竹村文子
ふじや賞2 金成賛海
半七写真印刷賞1 加藤悦海

写真部賞

写真撰賞 新井傳生
会員賞 佐野秋生
準会員奨励賞 松浦洋子
会友奨励賞 坂本典子
一般奨励賞 千葉慶胤
半七写真印刷賞2 寺内孝子
写真部賞(一般) 秋田實

絵画部小品部門賞

最優秀賞 武部幸夫
優秀賞 佐々木和美子
優秀賞 山崎恵子
奨励賞 萩原富美江
奨励賞 加藤健二
奨励賞 島田孝一
奨励賞 木村稔夫
奨励賞 寒竹徹夫
奨励賞 川井康弘
奨励賞 木下かおり

3. 授賞式



受賞作品

新構造賞 (絵画)

新構造賞 (版画)

内閣総理大臣賞 (絵画)

厚生労働大臣賞 (工芸)



佐伯 孝之「晩秋の水辺Ⅱ」

水面に浮かぶ枯葉の光景に心打たれ数年描いてきましたが、毎回水を描くことの難しさを痛感しています。

文部科学大臣賞 (絵画)



沖政 長公「ポロヴドゥールの朝」

世界遺産のこの寺院遺跡を、10年来描き続けています。大乘仏教への飽くなき情熱を表現したいものです。



石黒 妙子「フラミンゴ」

曼殊沙華と湖を目指すフラミンゴを組合せ、メゾチントという技法の銅版画で柔らかい質感を表現しました。

東京都知事賞 (絵画)



小林 満風「アホウドリの詩・生涯」

アホウドリは都の鳥島に繁殖のため、毎年10月から7か月余り滞在し、それらを題材とただけに、今回の受賞は同鳥も感激、感謝でしょう。



高橋 美奈子「豊穡の喜び」

新構造初出品以来56年、新構造を愛し誇りを持って黙々と出品してきました。ここに私の思いが認められた喜びでいっぱいです。ありがとうございました。



川上 千尋「ばら一輪」

この度は名誉ある賞を頂戴いたしました。誠に有難く恐縮しております。引き続き精進してまいります。

「特選・特別賞」

本目賞

何徳賞



国光美津恵 (絵画)



竹内知己 (絵画)

三枝賞



藤岡節子 (絵画)

清浦賞



末田初太郎 (絵画)

徳山賞



菊地睦美 (絵画)

秋山賞



早坂宗太郎 (版画)

功労賞



小川昭造 (絵画)



絵画部

第94回受賞者作品



浅地富恵子 (絵画)



前澤宮内 (絵画)



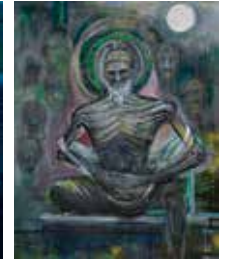
湯浅ふさ子 (絵画)



伊藤静枝 (絵画)



佃日出雄 (絵画)



吉野實 (絵画)



津郷正敏 (絵画)



高橋登 (絵画)



野口美佐子 (絵画)



尾崎禮子 (絵画)



森木愛琥 (絵画)



二葉のりえ (絵画)



高橋訓子 (絵画)



渡辺紀久子 (絵画)



木滝巖 (版画)



小田切恵子 (彫刻)



小林紀代子 (工芸)



臼井麻美子 (工芸)



横尾元子 (工芸)



佐藤由香 (工芸)



鈴木陽子 (工芸)



新井傳 (写真)



佐野秋生 (写真)



松浦洋 (写真)



坂本典子 (写真)



寺内孝子 (写真)

4.入会・昇格者

絵画部会員推薦

大月 二 尾崎 禮子 滝波あつこ
立田 房子 森木 愛琥

絵画部準会員推薦

久保 敏子 高橋 訓子 丹野 朝二
湯浅まつ代 渡辺 恒博 渡辺紀久子
二葉のりえ

絵画部会友推薦

青木 友美 荒井 明子 大高 浩美
小川 実空 片桐由美子 小山 翔平
佐藤 公治 関戸 和生 西本 理豊
平田 淳子 吉田 聖子

工芸部準会員推薦

鈴木 陽子 高山 勝之

工芸部会友推薦

佐藤 弘子

写真部会員推薦

松浦 洋 吉田 和夫

写真部準会員推薦

伊藤 眞 伊藤 武男 坂本 典子

写真部会友推薦

秋田 實 阿部 宗賢 千葉 慶胤



版画部



工芸部



写真部

第11期事業報告

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

第11回定時社員総会が3月23日(木)東京都美術館講堂で開催され、昨年度の実業報告及び決算報告と今年度の第12期事業計画案及び予算案が承認されました。

1. 第10回新構造東京展の開催

令和4年2月23日～3月7日にかけて行われた第10回展は最後の展覧会となった。開催出品者122名、出品点数176点の展示となり、過去2番目の規模となりコロナ禍の中3,500余名の入場者数となった。

2. 第10回一般社団法人新構造社社員総会

令和4年3月23日(水)第10回一般社団法人新構造社社員総会を開催した。社員数138名のもと賛成多数で全議案が承認された。

3. 第94回新構造展の開催

念願の国立新美術館初めての本展となった。(令和4年11月30日～12月12日)参加者は会員210名、一般出品者46名の計256名。作品点数会員244点、一般59点、小品部門では出品52人、出品数70点、計小品含め308名、370点の展示となった。

入場者数では会場が国立に移転したことにより7,548名と前回は218%の大幅な増加となった。

4. 巡回展・支部展

今年度行われた支部展は和歌山支部展を除いて6支部である。(支部活動報告参照)

5. 支部活動の強化

今年度の全国支部長会議は、11月20日国立新美術館の研修室で開催した。また、今年は茨城支部、和歌山支部で新しい支部長が誕生した。

6. 第8回スケッチ会

第8回スケッチ会は9月25日、26日に山梨県北杜市の日本芸術村林キャンプ場で14名が参加し、画評会等により技術の向上、会員同士の懇親を図った。

7. ガラス絵教室の実施

ガラス絵教室は5月8日と10月2日の2回に分けて実施した。両日とも12名参加し、ガラス絵特有の清涼感のある素晴らしい作品が披露された。

8. 第1回春季小品展の開催

各部共同して初めての小品展を4月3日～9日、東京交通会館にて実施した。63名の参加、74点の展示となり入場者数400名を超え新構造社の新しい発表の場となった。

9. その他の事業

○会報：コロナ禍の中ではあったが、年2回の発行(第80号、81号)を行った。

○ホームページ：年4回(4月・7月・9月・11月)改訂した。また、HPのない茨城支部を紹介した。

○浅草事務所について

原則、水曜日、金曜日の11時～15時迄委員の当番制にて対応(コロナの影響で7月、8月休業)。

毎月第一金曜日に事務局会議を開催し、また委員会活動が活発化し使用頻度は増した。またリモートでの参加の会議も常態化した。

第11期収支実績

令和4年1月1日～12月31日

収入の部

(単位：円)

科目	小科目	第11期予算	第11期決算	予算比	摘要	
経常収入		16,258,500	16,365,008	106,508		
年会費	年会費	13,127,500	12,445,000	▲682,500	252名入金、未収6名、退会33名	
	出品料	出品料	2,711,000	3,175,000	464,000	
		本展	281,000	541,000	260,000	一般出品44名、小品52名
		東京展	1,900,000	1,980,000	80,000	122名
		春季展	480,000	504,000	24,000	63名
		支部展協賛	50,000	150,000	100,000	30名入金
入会金		120,000	225,000	105,000	15名	
記名料		300,000	520,008	220,008	会員7名、準会員12名	
販売収入		50,000	318,300	268,300		
画集	画集	20,000	90,000	70,000	50冊	
	入場料	30,000	228,300	198,300	383名	
その他収入		30,104	94,296	64,192	祝儀、預金利息他	
収入合計		16,338,604	16,777,604	439,000		

支出の部

(単位:円)

科目	小科目	第11期予算	第11期決算	予算比	摘要
運営管理費		3,530,000	3,721,293	191,293	
会議費		130,000	93,149	▲ 36,851	総会、理事会、支部長会議他
事務費		1,790,000	1,981,189	191,189	
	賃借料	720,000	796,500	76,500	事務所賃料、契約更新料
	事務諸費	450,000	386,584	▲ 63,416	公共料金、事務所雑費、各種手数料
	通信費	400,000	392,664	▲ 7,336	会員等宛郵便、宅急便、振込手数料
	文具費	150,000	335,441	185,441	文具、インク代等
	租税公課	70,000	70,000	0	
広告宣伝費		350,000	286,741	▲ 63,259	美術雑誌、同新聞広告費
印刷費		350,000	400,400	50,400	名簿、会報、封筒、各種帳票等
旅費交通費		800,000	865,764	65,764	本部業務、支部長会議、支部展出張
慶弔費 接待贈答費		110,000	94,050	▲ 15,950	個展、グループ展
展覧会費		11,816,000	10,932,845	▲ 883,155	
会場費		3,996,000	4,063,090	67,090	
	本展	2,500,000	2,396,400	▲ 103,600	国立新美術館
	東京展	1,100,000	1,196,660	96,660	"
	春季展	396,000	470,030	74,030	次年度開催半額支払
陳列費		2,100,000	2,219,149	119,149	東京展 717 千円 / 本展 1,502 千円
会場設営費		400,000	379,477	▲ 20,523	東京展 142 千円 / 本展 238 千円
印刷費		2,730,000	1,627,718	▲ 1,102,282	
	画集	2,000,000	1,320,550	▲ 679,450	
	招待状	500,000	142,230	▲ 357,770	本展 / 東京展 / 春季展案内状
	要項・目録	230,000	164,938	▲ 65,062	"
派遣雇用費		180,000	208,200	28,200	本展、東京展受付外部雇用
運営費		990,000	1,284,079	294,079	
	交通費	470,000	546,669	76,669	
	事務諸費	150,000	261,000	111,000	会場使用諸費
	食費・会議費	190,000	214,510	24,510	本展業務担当者用弁当
	謝礼・接待費	180,000	261,900	81,900	本展外部審査員謝礼
巡回展費		0	0	0	広島巡回展順延
作品巡回搬送費、保管費		700,000	416,314	▲ 283,686	長野 / 茨木 / 岩手支部展
褒賞費		720,000	734,818	14,818	本展 / 東京展
助成補助費		770,000	410,000	▲ 360,000	支部展開催支部助成 / スケッチ会
支出合計		16,116,000	15,064,138	▲ 1,051,862	

科目	11期予算	11期決算案	予算比
当該年度収支差額	222,604	1,713,466	1,490,862
正味財産期首残高	8,043,130	8,043,130	0
正味財産期末残高	8,265,734	9,756,596	1,490,862

▶【第11期決算の概況】

1. 収支状況

⇒予算に対して1,713千円の黒字となり、次期繰越金は9,756千円となりました。

2. 収入状況

⇒出品料、入会金・記名料の予算比増により年会費の減収をカバーし、結果、予算比439千円の増収。
 ・年会費：予算268名に対し納入者252名と16名減少のため、予算に対し683千円の減収
 ・出品料：予算に対し464千円の増収
 ※本展+260千円(一般出品44名, 小品52名)、東京展・春季展・巡回協賛で+205千円
 ・入会金、記名料：予算に対し325千円増収
 ※会員推薦7名(対予算+2名)、準会員12名(+7名)、会友15名(+7名)

3. 支出状況

⇒支出面では主に印刷費と作品巡回費減少により、予算比▲1,052千円の減少。
 特に、画集、招待状等の印刷業者変更による節減(▲1,102千円)が大きく貢献。
 ・運営管理費：3,721千円、予算比+191千円超過
 ※事務所契約更新, 文具費, 交通費で超過
 ・展覧会費：10,933千円、予算比▲883千円節減
 ※印刷費▲1,102千円：画集▲679千円、招待状▲358千円、その他印刷▲65千円
 ※作品巡回費▲384千円



第12期事業計画

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

1. 基本方針

- (1) 一般社団法人新構造社は美術に関する研究及び展覧会を開催して、美術創作活動の奨励並びにひろく一般の鑑賞に資するとともに芸術文化向上発展に寄与する。
- (2) 本法人は永い歴史と伝統を有し絵画、版画、彫刻、工芸、写真の5部門による総合展として独自性と特色ある価値判断に立脚した展覧会を開催する。
- (3) 第12期事業計画に於いて次の事業に重点を置く。
 - ・新構造展の充実発展を図る。(国立新美術館で開催。春季小品展の継続的開催)
 - ・巡回展・作品巡回、HPのない支部展を本部HPで紹介。
 - ・支部活性化の推進を本部支部一体となって図る。また新人の発掘を目指す。
 - ・会員の研修、親睦の場を企画して豊かなライフワークを支援する。
 - ・ネット展の経験を活かし、本展の動画配信を継続し存在感を高める。
 - ・本部事務所の活用を図る。

2. 主要事業

- (1) 第95回記念新構造展の開催: 国立新美術館(11月)
 - 国立での展示は2回目となる為、前回経験を活かし95回記念展にふさわしい作品の充実と展示方法・イベントの工夫を図る。
 - 小作品の公募による一般出品者の底辺拡大を図る。
- (2) 春季展の開催(新構造春季小品展)(東京交通会館:5月)
 - 小作品を中心に5部門共同で開催し、新構造会員の新しい発表の場として広く一般に鑑賞の機会を提供する。
- (3) 巡回展・支部展(作品巡回)
 - 本展の受賞作品を中心に5部門から選抜して全国を巡回する。

- 会場効果を踏まえて実施する。
- (4) 全国支部の活動推進の強化
 - 定例全国支部長会議を実施、本部と連携を図る。
 - 全支部の支部展開催と交流を推進する。(本部派遣者の交代制)
- (5) 研究会・講習会の実施
 - 第9回スケッチ会の実施:(9～11月)
担当支部を中心とした機会を設定し研修、親睦、交流を図る。
 - 浅草事務所会議室の活用を図る。
各部による講習会等の活用、実施。
 - ガラス絵等各部による研修会の開催
- (6) 会報・ホームページ
 - 会報は本展開催時期変更の為、4月、9月発行の予定。
 - HPは年4回以上改訂(4月・7月・11月・1月)する。
- (7) その他
 - 100周年に向けて準備委員会を発足
 - 小品の会員制度に向けた委員会を発足



第12期予算

令和5年1月1日～12月31日

収入の部

(単位:円)

科目	小科目	11期決算	12期予算案	11期決算比	摘要	
経常収入		16,365,008	13,715,000	▲ 2,650,008		
年会費	年会費	12,445,000	12,065,000	▲ 380,000	納入 245名	
	出品料	出品料	3,175,000	1,200,000	▲ 1,975,000	
		本展	541,000	570,000	29,000	一般出品 40名、小品 50名
		東京展	1,980,000	0	▲ 1,980,000	10年開催終了
		春季展	504,000	480,000	▲ 24,000	60名
		支部展協賛	150,000	150,000	0	30名
入会金	225,000	150,000	▲ 75,000	10名×15		
記名料	520,008	300,000	▲ 220,008	会員 5名、準会員 5名		
販売収入		318,300	220,000	▲ 98,300		
画集	画集	90,000	40,000	▲ 50,000	20冊	
	入場料	228,300	180,000	▲ 48,300	300人	
その他収入		94,296	60,100	▲ 34,196	祝儀、預金利息他	
収入合計		16,777,604	13,995,100	▲ 2,782,504		

支出の部

(単位:円)

科目	小科目	11期決算	12期予算案	11期決算比	摘要	
運営管理費		3,721,293	3,515,000	▲ 206,293		
運営管理費	会議費	93,149	60,000	▲ 33,149	総会、理事会、支部長会議他	
	事務費	1,981,189	1,840,000	▲ 141,189		
		賃借料	796,500	720,000	▲ 76,500	
		事務諸費	386,584	450,000	63,416	公共料金他
		通信費	392,664	400,000	7,336	
		文具費	335,441	200,000	▲ 135,441	
		租税公課	70,000	70,000	0	
		広告宣伝費	286,741	280,000	▲ 6,741	
		印刷費	400,400	400,000	▲ 400	会報、名簿、封筒他
		旅費交通費	865,764	800,000	▲ 65,764	本部業務、支部長会議
	慶弔費 接待贈答費	94,050	135,000	40,950	個展 グループ展	
展覧会費		10,932,845	9,750,000	▲ 1,182,845		
展覧会費	会場費	4,063,090	2,910,000	▲ 1,153,090		
	本展	本展	2,396,400	2,400,000	3,600	国立新美術館
		東京展	1,196,660	0	▲ 1,196,660	開催終了
		春季展	470,030	510,000	39,970	交通会館
	陳列費	2,219,149	1,500,000	▲ 719,149	本展展示費用	
	会場設営費	379,477	250,000	▲ 129,477	"	
	印刷費	1,627,718	1,640,000	12,282		
	画集	画集	1,320,550	1,320,000	▲ 550	
		招待状	142,230	130,000	▲ 12,230	本展、春季展
		要項・目録	164,938	190,000	25,062	"
	派遣雇用費	208,200	100,000	▲ 108,200		
	運営費	1,284,079	1,250,000	▲ 34,079		
	交通費	交通費	546,669	500,000	▲ 46,669	
		事務諸費	261,000	300,000	39,000	本展会場使用諸費
		食費・会議費	214,510	230,000	15,490	
		謝礼・接待費	261,900	220,000	▲ 41,900	外部審査員
	巡回展費	0	700,000	700,000	広島巡回展	
作品巡回搬送費、保管費	416,314	700,000	283,686	支部展へ作品巡回搬出入費		
褒賞費	734,818	700,000	▲ 34,818			
助成補助費	410,000	650,000	240,000	支部展開催助成費・スケッチ会補助		
支出合計		15,064,138	13,915,000	▲ 1,149,138		

科目	11期決算	12期予算案	11期決算比
当該年度収支差額	1,713,466	80,100	▲ 1,633,366
正味財産期首残高 (繰越額)	8,043,130	9,756,596	1,713,466
正味財産期末残高 (繰越額)	9,756,596	9,836,696	80,100

注 1. 東京展は10年開催期間終了

▶【第12期予算の概況】

1. 収入の部

- ・収入合計は13,995千円(対前期比▲2,782千円)
⇒前期東京展出品料を除けば対前期比▲802千円の減収
- ・年会費:12,065千円(対前期▲380千円:納入見込245名(対前期▲7名))
- ・出品料:1,200千円(対前期▲1,975千円※東京展を除けば、ほぼ前期並み)
- ・入会金、記名料:450千円(対前期▲295千円)

2. 支出の部

- ・支出合計は13,915千円(対前期比▲1,149千円)
⇒前期東京展支出(▲2,500千円)を除き、95回記念展経費(300千円)を計上。
また、広島巡回展(700千円)及び巡回作品費用(+300千円)を計上

- ・運営費:3,515千円(対前期▲206千円)
※交通費、文具費を節減
- ・展覧会費:9,750千円(対前期▲1,182千円)
※東京展終了による支出減少と95回記念展の支出増及び印刷経費等の維持。

3. 収支の部

- ⇒収益80千円と収支均衡の予算となり、次期繰越金は前期とほぼ同額の9,837千円



各部からの報告と今年の抱負

絵画部

「第94回展について思うこと」

常務理事 工藤 一二

第94回新構造展が昨年11月30日から14日間に亘って開催されました。特に今回はこれまでの都美館から国立新美術館に移っての展覧会となりました。10年間の東京展の経験はありましたが、多くの皆さんのご協力により盛会の内に終了できましたことに心から御礼申し上げます。

出品作品数は前年に比べ会員の減少により25点ほど少なかったものの、一般出品や小品出品数が増加したことは、これからに繋がるものと思えます。



ただ、地方含め出品が年々減少している現実を踏まえて、国立で本展を行う意義を再度自問しないといけないと思っています。また、これまでの大作主義の公募だけで良いのか、そして今後の展示についても同様に再検討が必要ではないかと考えます。

特に地方からの出品に当たっては、その搬入搬出の費用負担や取扱業者が減少している現状を本部として何か対策はできないものか。また、高齢者が多くなっている中、大作に取り組む人が減少していることに対する対策が今後必要と考えます。

こうした現状を踏まえ、昨年「小品会員制」についての検討委員会を立ち上げました。決して絵画制作の人口は減少していないと個人的には思っています。そうした中で今後、会の存続に繋がるような施策を少しでも早く立ち上げていきたいと考えています。今後とも引き続き会へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。



版画部

「2022版画部」

理事 西川 くみ代

新国立美術館に移って初めての本展は、外国人や若い入場者も多く活気があった。会期の長さや会場の使い方等が今までと違うために多少の戸惑いがあったが、同時に新しい工夫やアイデアも生まれたので、次回に活かしていきたいと思う。

1.展示について

展示場所は以前より広くなったが、会場の中程の位置だったため入り口が2つあり、壁面も2つに分かれたので、技法ごとにまとめるように展示し、技法の説明パネルをつけることにした。入り口に近い入口には昨年作った4つの版種の紹介、向かいに木版画の技法説明、奥の入り口に銅版画の技法説明のパネルを設置した。

銅版画は、一般に木版画より馴染が薄いので、説明だけでは伝わらないと考え、小田悦子の小作品の版と刷った現物を並べて展示した。

なお今回は、リトグラフやシルクスクリーン等の説明も加えていきたいと考えている。



2.作品について

会員10名、一般2名の計12名17作品が展示された。人数は少ないが、それぞれに版種の特徴と技法を活かした意欲的で個性的な作品であった。一般出品の2人も力のある銅版画で見応えがあり、今後にも期待できそうな作品で良かった。

今回、版画部は4つの賞を受賞した。秋山賞に早坂宗太郎、会員賞に木滝巖、一般奨励賞に池田有希。そして、内部の最高賞である新構造賞を石黒妙子が獲得したのが快挙であった。

なお、体調の悪い中、谷田川卓顧問

が力強い作品を出品してくれたことも大変良かった。



3.それぞれの活動について

2022年の部員の活動を少し紹介したいと思う。石黒妙子、齊藤弘久、西川くみ代が所属している埼玉県版画家協会は、3月に狭山のギャラリー麦で小品展、8月に川崎市立美術館で本展を開催。齊藤弘久は9月にART FOR THOUGHT画廊で個展も開いた。栃木では、9月の栃木県女流画家展に高村静江が出品、10月の白峰会版画展に高村、中田重稔が出品した。

小田悦子はO-HOUSE版画工房を主催し、その他に東京版画研究所でも活動して、新構造の紹介にも努めている。なお今回の一般出品の2人は、小田の工房で活動している者である。

4.今後の課題と抱負

版画部の抱える問題は、人数が少ないことと全員が会員以上で、次世代がいないことである。誘いかけはしているが、版画制作者そのものが減っているのが実情で、増やすのは難しい課題である。

しかし今回、2人ではあるが力のあ一般出品者がいたことは希望が持てる。ぜひ、定着して会員を目指してくれるよう働きかけていくつもりである。

工芸部

「令和4年度の活動について」

常務理事 宮脇 豊子

コロナ禍が依然続く中、新しい日常にも順応しつつある一年でした。

こうして令和4年度の活動を無事に終えられましたことに、ひとまずホッとしております。

皆さまのご理解、ご協力に心から感謝いたします。

第10回東京展

このたびは、10回という節目の開催となり、令和4年2月23日から3月7日まで国立新美術館で開催されました。

工芸部からは、次の三名の方々が

受賞されました。おめでとうございます。

第10回記念大賞 磯野洋子さん
 優秀賞 白井麻美子さん
 奨励賞 里川かほるさん

第1回新構造春季小品展

令和4年4月3日から4月9日まで東京交通会館で開催されました。工芸部からも数名が参加しました。

第2回の小品展は5月7日から13日まで東京交通会館2Fギャラリーで開催されます(販売可)。会場も大きくなりますので皆さまふるってご参加ください。

第94回新構造展

令和4年11月30日から12月12日まで、今回から国立新美術館での開催となります。

厚生労働大臣賞 川上千尋さん
 工芸撰賞 小林紀代子さん
 その他各賞受賞者 8名
 準会員推薦者 2名
 会友推薦者 1名
 受賞及び推薦の皆さま、おめでとうございます。



“見せる“から”魅せる“へ

令和4年度も、情熱のこもった多くの作品に出会うことができました。そして、会場でこれらの作品を鑑賞する方々に、もっと作品を深く味わってほしいという思いがわき上がってきました。工芸部ではジャンルだけ見ても十数種類の作品が展示されています。完成された作品の素晴らしさだけでなく、更の一つ一つの作品が、手間を惜しまずじっくりと時間をかけて出来上

がっているのだということについても、知っていただきたいと思うのです。

次年度はそのための取り組みを一步ずつ進めていけたらいいと考えています。例えば、作品制作の技法や工程などを作者の“解説”として添えることによって、鑑賞する側の興味を更に引き出すことができるのではないのでしょうか。このように“見せる“を”魅せる“に“していくことができたなら、素晴らしいと思います。“魅せる“ためのアイデアを下記アドレスへ是非お寄せください。

E-mail:t-miyawaki@jcom.home.ne.jp

令和5年度も、滞りなく作品展を開催することができますように、皆さまのご協力をお願いいたします。

写真部

「国立新美術館で本展開催」

常務理事 谷本 清彦

令和4年の展覧会は、2月第10回記念東京展が最終回として開催され、新型コロナ第6波のなか対策を講じて、最後を飾る展覧会とすることができ、同美術館に移り開催される歳末の第94回本展に繋がりました。

今回は、前回9回展がコロナ禍で中止、今回展で最終につき8回展に比し全体の出品が増加したが、写真部も出品者が7名、点数が14点増加、8回展で無かった大判写真全倍が11点あり迫力ある展示となった。

前回展まで工芸部との共同展示であったが、今回は単独の6室となり、観覧漏れで通過が懸念されたので、入口右側壁面は全点委員・会員の大判写真とし入口近くは迫力ある作品を配置展示し対応策とした。

第94回本展は国立新美術館に移り、初回展を会期11月末から13日間

と従来より延長し、会場として好適な2階展示室で、新型コロナ3年目第8波のなか対策を講じて開催されました。5部門による総合展として全体の出品作品は評価され、展示は整い、会期中の観覧者は平穩に鑑賞いただき、前回より大幅に増加した入場券購入者、大高生を含む多くの一般の鑑賞に寄与することができました。



写真部の出品は、前回並みを維持でき、うち大判写真である全倍作品が19点に増え、見映え良好となりました。

一般入選は、初出品3名を含む計8名、12点あり一応の貢献ができた。

展示は、2階展示室2Bで可動壁面1か所設置2室とし、18室は委員・会員、19室は準会員・会友・一般とし、2室共バランス良く間隔をとって整いました。国立新美術館での本展初回は、新会場につき検討のうえ運営されましたが、改善点がありますので、今後良くするため改善点の検討を行い、好発進したこの機に団結して発展を推進するよう協力願います。

写真部在籍者は新会友3名を加えたが、高齢化による退会で現在35名に減少、不出品者も増加しているので一般出品者の勧誘に協力願います。

昨年、発表の場を広げるため、小作品を5部門共同で、アンテナショップとして第1回新構造春季小品展を4月東京交通会館で開催し、写真部では3名4点を出品しました。本年は5月に第2回展が同会館で開催されますので、多くの出品をお願いします。



開催予告 春季小品展 第2回新構造

- 会場 東京交通会館 ゴールドサロン (地下1階) JR有楽町駅前
- 会期 令和5年5月7日(日)～5月13日(土)
 11時～18時(初日13時から/最終日15時まで)
- 内容 新構造5部門(絵画・版画・彫刻・工芸・写真)の
 会友以上の小作品を展示(販売可)
- 出品料 8,000円

令和4年度全国支部活動状況報告

常務理事(支部連絡委員) 瀧川 隆

令和4年度の全国支部活動は、長引くコロナウイルス流行のため、相互の連絡があまりとれず、活動状況を把握することは難しい一年でした。しかしながら、今回から第94回新構造展は、国立新美術館にて開催されることになり、各支部からの出品も期待以上に多くあり。コロナ流行などに負けない、支部会員の意気を感じさせる94回新構造展だったと思います。また、展覧会の第一審査日、11月21日には、コロナ規制により、1時間という短い時間ではありましたが、全国支部長会議が開催されたことは、大収穫でした。こうした状況での会議にも関わらず、10支部の参加があり、本部からも理事長始め7名の参加を頂き、各支部からの、令和5年度の支部展開催予定、また、今後の活動状況についての活発な討議があり、希望と

期待の感じられる会議で、いろいろ規制のあつた会議でしたが、大変有意義だったと感じています。令和5年も全国支部は頑張る、と思えたのが収穫でした。しかし、今年度は茨城支部長の退任、和歌山支部長の体調不良により退任、また長野支部長の体調不良による退任と、続きました。高齢化問題、コロナ流行、体調不良、また経済問題等が絡み合っています。こ

れによる後任問題、支部展開催や支部の存続問題等の難題があります。これらに対し、本部ではその対応について真剣に対策を検討しております。会員の皆様からのご意見等がありましたら、本部までお寄せいただければ、有り難くお待ちしております。令和5年は厳しい年度となると思いますが、本部、全国支部一丸となって乗り切って行きたいと思っております。

令和4年度支部展覧会開催状況

展覧会名	場所	開催日
長野県展52回	長野県立美術館	令和4年3月10日～15日
千葉支部展51回	千葉県立美術館	令和4年8月15日～21日
茨城作家展34回	東海ステーションギャラリー	令和4年8月28日～9月3日
埼玉支部展60回記念展	埼玉県立近代美術館	令和4年9月6日～12日
神奈川支部展38回	アートガーデン川崎	令和4年10月4日～9日
岩手支部展32回	盛岡市民文化ホール	令和4年10月13日～16日
和歌山支部展62回	和歌山県民文化ホール	中止

岩手支部

支部長 梅沢 空世

1 今後の抱負

岩手支部では、11名の会員がそれぞれ研鑽に励み制作に取り組んでいます。

第32回新構造岩手支部展は、盛岡市民文化ホールにて、令和4年10月13日～16日の会期で開催しました。コロナ禍の中でしたが、来場者は昨年より増えて200名を超え、無事終了した時には、ホッとしました。今年は、支部会員全員から合計45点の出品があり、今年度新たに設定した「公募の部」には、2名の方から4点の出品がありました。さらに本部からも、中谷理事長はじめ計4作品を提供していただき、合わせて17名の作家による53点の作品が展示されました。



また、展覧会初日には、中谷理事長・大浦常務理事、工藤常務理事がご

第32回岩手支部展
 会期 令和4年10月13日～10月16日
 会場 盛岡市民文化ホール 4階展示ホール
 後援 岩手県芸術文化協会 岩手日報社 盛岡タイムス社
 出品 17名(53点) (支部会員11名45点、本部4名4点、公募の部2名4点)
 来場 203名

内各所の配付に取り組みました。結果、来場者も増加し、何より公募の部への応募が2名あったことから、来年度もこれらの取組を継続して、支部会員の拡大と共に創作活動の充実を図りたいと思います。そして、新構造の自由な精神や本展が国立新美術館で開催されることなど、自信を持って新構造のよさや魅力を

来館され、支部会員や公募の部の方に熱心にご指導を頂きました。来場者からは、「充実した作品が並んでいますね」「個性的で素晴らしい作品展なので楽しみにしている」などの感想をいただき、新構造のよさを感じ取っていただけたものと思います。

さて、今年の抱負について述べます。岩手支部では、支部の活性化に取り組んでおり、今回の支部展から「公募の部」を設けました。また、PRにも力を入れ、盛岡市の芸術専門のポータルサイトに支部の情報が掲載ができるようにしました。さらに、支部展のポスターも新たに作成し、支部会員が県

PRし、本部会員の増大に向けて努めて参ります。

むすびに、本部役員の皆様をはじめ、たくさんの方々の方々の力強いご支援とご指導に心から感謝申し上げます。今後とも、岩手支部の一層の発展を目指し励んで参ります。



2 支部会員の活動状況

○梅沢空世

3月:レクイエム・・・祈り3.11 東京
ギャラリー美庵(東京都中央区)
4月:春のアート展 スマートシップ
ギャラリー(東京都世田谷区)
6月:Art Market in 台場 グランド
ニコウ(東京都台場3F)
9月:ART INTERNATIONAL



ZURICH コンgressハウスチュ
ーリッヒ(スイス)

○大西恵美子

5月:グループ径展 盛久ギャラリー
(盛岡市)
9月:七虹会・三洋会・大船渡光墨会
合同展 カメリアホール(大船渡
市)
11月:気仙芸術祭 陸前高田市コ
ミュニティホール(陸前高田市)
12月:七虹会チャリティ展 サンリア
(大船渡市)

○菅原敏子

3月・8月:いわい美術展 一関文化
センター(一関市)

○高橋訓子

10月:岩手芸術祭 岩手県民会館
(盛岡市)

○高橋眞司

2月:芝欄の会展 エスポワールい
わて(盛岡市)
9月:いわて水彩画会展:プラザお
でって(盛岡市)



茨城支部

支部長 石山 匠

今年度も茨城支部展が東海ステ
ーションギャラリーにて開催されまし
た。本会場は常磐線東海駅構内に有る展
示スペースです。

今回、理事長をはじめ多くの委員の
方々にご来場いただき有り難うござい
ました。さらに各個人の作品に対する
講評を中谷理事長よりいただき大い
に参考になりました。又、マスコミにも
多く取材を受け当支部展の努力、発展

等、好評な内
容で広報出
来ました。

今後、支部
活動の方向
としまして
は、支部会員
の増員、表現
内容の充実、
支部PRに力
を入れて行
きたいと思
います。



第34回茨城支部展

会期 令和4年8月28日～9月3日
会場 東海ステーションギャラリー A
後援 茨城県・茨城県教育委員会
茨城新聞社
出品 12名(35点)
来場 520名

埼玉支部

支部長 古川泰司

昨年60回記念展は、大作2点ずつ
の出品で盛会に開催できました。

埼玉新聞社様をはじめ、これも一重
に各位のご支援の賜と感謝御礼申し
上げます。

コロナ禍の影響もあってか出品者
が少なかったが、一般出品者が20名
程増加したのは、うれしいかぎりです。
私どもの歩みは遅々たるものでありま
すが、同好の士が集まって努力研鑽に
励み、より良い美術団体に向上したい
ものです。

第61回新構造埼玉支部展 会場:
埼玉県立近代美術館(JR北浦和駅)
会期:8月29日(火)～9月3日(日)



第60回記念埼玉支部展

会期 令和4年9月6日
～9月11日
会場 埼玉県立近代美術館
一般展示室1
後援 埼玉県教育委員会
さいたま市教育委員会
埼玉新聞社
出品 53名(84点)
来場 782名



千葉支部

支部長 高橋 美奈子

第51回千葉支部展の活動報告と第52回展への抱負は次のとおりです。

千葉支部展は、令和4年8月16日(火)～8月21日(日)まで、千葉県立美術館、第5室にて開かれました。

本展の期日の変更にもない、支部展も今回より変更になりました。途中から条件の良い時期に入れてもらう事は難しく、8月のお盆の週になってしまいました。

高齢化が進んでいる世の中です。支部展の出品者も減りつつありますが、第51回展出品者は46人、112点の作品が集まり、広い第5室の会場もほぼ埋まり、堂々とした展示会場になりました。

本年令和5年度も、会員1人当たり、



大作2点と小品1点を出品、そして特別展示コーナー等を設けたりと工夫をこらしたり、何と言っても出品者が1人でも増えるよう、声掛けなどをして行きたいと思います。

第52回展は令和5年8月15日(火)～8月20日(日)に決定しました。

第51回展も暑い時期でしたが、館内では他の団体展も2つ同時開催していたため、相乗効果によって、来場者も900人近くありました。第52回展も期待しています。

とにかく千葉支部展は第51回展より、北浦氏が事務局長となり、いろいろな手続きを始め、諸事務的な仕事を

第51回
新構造
千葉支部展

会期 2022年8月16日(火)～21日(日)
AM9:00～PM4:30
会場 千葉県立美術館 5室
祝開式 8月21日(日)午後2時30分～
主催 一般社団法人 新構造社 千葉支部
後援 千葉県教育委員会

ご来場中とは存じますが、ご来場のご覧を順ります様ご案内申し上げます。なお、コロナ対策も厳守して開催しておりますので、ご来場の様、何卒よろしくお願い致します。



してくださり、また役員さん、各リーダーの団結の元、揺るぎない支部展となっております。

第51回千葉支部展受賞者

- | | |
|-----------|-----------|
| 新構造千葉賞 | 松久崇恵子 |
| 千葉県立美術館長賞 | 濱田芳久 |
| 特選 | 高橋 登 船津雅子 |
| 優秀賞 | 吉田 誠 大多和誠 |
| | 林 雅代 |
| 奨励賞 | 菊池小夏 尾崎禮子 |
| | 松浦 洋 |



第51回千葉支部展

- 会期 令和4年8月16日～8月21日
会場 千葉県立美術館 5室
後援 千葉県教育委員会
出品 46名(112点)
来場 900名

神奈川支部

支部長 瀧川 隆

○第38回新構造神奈川支部展は、昨年まで5部門を示していたが、(版画、彫刻の出品者が無く、来場者より指摘があり)絵画、工芸、写真の3部門による美術展に致しました。

会場は縮小のままでしたが、時間は1時間延ばしの開催でした。継続的に人から人の勧誘で一本釣り作戦が功を為し、さらにインターネットの結びつきで、多くの初出品者が加わり、その新鮮な息吹が会場に溢れ、期待以上に盛会で吸収することの多い展覧会となりました。神奈川県内の展覧会でありながら、遠隔地からの出品者が多く今後の案内活動の展開方法も来期

の課題としたいところです。

その代表的第一歩はホームページです。神奈川支部ホームページを新設致しました。

ホームページアドレス(新設しました)
<https://shinkozo-kanagawa.jimdofree.com>

◎支部活動スケッチ委員による「美術館鑑賞日帰りツアー」企画実施
10/29日(土)神奈川県立近代美術館 葉山館(マン・レイと女性たち)

2022年 第38回公募
新構造 神奈川展
絵画/工芸/写真
彫刻/版画

皆さま方新しい世界をのよ
ご来場くださいませよう
ご案内申し上げます。

令和4年10月4日(火)～10月9日(日)
10:00～17:00(前日は15:00～、8日と9日は15:00まで)
※日15時より観覧券を販売いたします
会場 アートガーデンかわさき

主催 後援
一般社団法人 神奈川県・神奈川県教育委員会
新構造社神奈川支部 川崎市・川崎市教育委員会

連絡先 023-9402 神奈川県教育委員会(311) 電話番号 090-5244-9022
ホームページアドレス <http://shinkozokanagawa.web.tid.com/>



名(昼食会は参加者一同にコミュニケーションがはかられました。



○亀ヶ谷 豊

・5/18～5/28「エクスぺリメンタルアート展」(Artisans 北鎌倉展)「天国に至る道」

鑑賞後のスケッチと自由行動参加者11

第38回神奈川支部展

- 会期 令和4年10月4日～10月9日
会場 アートガーデンかわさき
後援 神奈川県 神奈川県教育委員会 川崎市 川崎市教育委員会
出品 51名(72点)
来場 700名



- 10/12～10/19 個展「人物デッサン展」(東京ますいわ屋/玉川高島屋)
- 2023—1/12～1/23 企画展「アートプラネット」(神戸三ノ宮阪急デパート)
- 荒井令子
 - 11/～「ハマ展」(入選)(横浜市民G)
 - 11/～「ima展」(入選)

- 小野口和代
 - 4/13～4/17 神奈美公募展(準会員推薦)—(神奈川県民ホール)
 - 10/4～10/9 「アート翼合同展」—アートガーデンかわさき
- 他
 - 11/22～11/27「港の作家協会展」(神奈川県民ホール地下展示室G)

(瀧川、青木、荒井、浅地、亀ヶ谷、川邊、星川、森木)



長野支部

支部長代行 富田信明

第51回新構造長野県展は2022年3月11日(金)から3月15日(火)までの5日間、新装なった長野県立美術館 しのギャラリーで開催された。

本部をはじめ、長野県支部会員と一

般出品者の作品を含めて85点となり、出品者数は33名となった。

出品内容は油彩、水彩、アクリル、和紙絵、写真、工芸と多彩であった。

来観者数は600人台となった。この会場をはじめて使用するの、大作を含めて多様な作品の搬入に際して、作品搬入口から展示品室までの経

路や経路の形状、サイズ等の確認に特に神経を払った。

今年度も同展覧会場で、来る第52回新構造長野支部展を3月10日(金)から3月14日(火)までの5日間開催する。

和歌山支部

支部長 濱口憲子

人と集うことが難しく、ライフスタイルが変わりつつあるこの3年。和歌山支部展もコロナ禍に見舞われ開催寸前に2度も中止を余儀なくされました。この3年の間に家族の介護や、自身の健康問題等で3名が退会し毎年メンバーが減って寂しい限りです。

新しく入会をと、声かけしていますが和歌山は地の利も不便で運送代も高く戸惑います。

こういう事情もあり、長年使用していた県民文化会館大展示室は賃料が高く困難が生じてきました。幸いな事に和

歌山城の前に昨年オープンした和歌山城ホールで今年は開催を考えています。小さいギャラリーで小規模になりますが支部展61回の灯りを継続していきたく思っています。小川昭造前支部長が現在病気療養中ですが、制作意欲は素晴らしく年頭に卯年の干支

色紙をプレゼントして下さいました。兎にちなんで「飛躍」「向上」の年となつてほしいものです。

- 和歌山県展入選 重石景子 濱口憲子
- 和歌山支展 市議会議長賞 濱口憲子



小川昭造作 (色紙)



広島支部

支部長 益村 司

第94回新構造展においては広島支部関係者が新構造賞、文部科学大臣賞、何徳賞、清浦賞など多くの賞を頂戴し、大変驚き、うれしく思っています。また、広島県立美術館での第11回新構造広島巡回展もコロナ禍



にもかかわらず、800人を超す、来館者にお越しいただき、盛会のうちに終了しました。

県北部の研修会も定着してきていますし、呉研究会、岩国研究会と継続をして会員同士の研鑽もしっかりとできていると思っています。



一方、高齢化などで退会者や不出品者も多く、頭の痛い状況です。

◎ 2023 新構造広島巡回展 第11回 ART EXHIBITION [絵画・版画・写真・工芸] 入場無料

第94回新構造展の絵画・版画・写真・工芸の中から、優秀作品と地元関係者の作品を合わせて22点を展示。

11月10日(火)～15日(日) 午部10時～18時 入場は無料の50分前まで
広島県立美術館 県民ギャラリー 広島県立美術館2階 082-227-4300

展覧作品作家

市川 賢次	津島 高心	甲斐 雅博	高野 謙	川原 三枝子
渡辺 洋子	佐々木 和典	安部 野太郎	伊藤 洋子	
刀馬 晴	野口 美穂子	宇野 美子	藤田 孝子	
益村 司	坂本 千代	村中 孝子	結城 知子	渡辺 則子

主催／一般社団法人新構造社、中国新聞社 協賛／広島県教育委員会、広島県教育委員会

支部会員の活動状況

- ・第7回JAM展スポンサー賞
甲斐君枝 結城知子 国光美津恵
- ・第6回アトリエブラック展
銀賞 甲斐君枝
スポンサー賞 佐々木和美
- ・新県美展 奨励賞 松本千代
入選 渡辺紀久子
- ・佐伯孝之絵画作品展 大朝地域づくりセンター
- ・TOKYO世界展ランブリエ2022
準大賞 益村司
- ・絵のまち尾道四季展

- 入選国光美津恵 村中恵子
- ・新庄学園美術部OB展
佐伯孝之 小田朋義



- 第11回広島巡回展
会期 令和5年1月10日
～1月15日
会場 広島県立美術館
主催 一般社団法人
新構造社
中国新聞社
後援 広島県教育委員会
広島市教育委員会
出品 52名(52点)本部
巡回作品32展
来場 808名

香川支部

支部長 岡 啓介

第40回香川支部展開催の報告と支部の状況

香川支部は6名という少人数ではありますが、本年も無事香川支部展を開催することができました。初日には、中谷理事長と益村常務理事がご来場くださいました。一般の来場者も一緒に参加するなか、ギャラリートークやアクリル技法の解説をしてくださり、支部会員の研修の時間にもなりました。会場は恒例の高松市美術館市民ギャラリーですが、好立地ということもあり今回も555名の来場者がありました。

現在は、6名(うち芸芸部1名)で会場の壁面を埋めるために、1人4～5点

(大小作品)の作品を出展しなければ支部展が成立しない状況にあります。そのため本部からの巡回作品が、支部展を彩る意味でも欠かせないものとなっており、毎年の本部のご配慮に感謝しています。

このように香川支部展は、1人の作家について複数の作品を観ることができるという意味で、1人1点出品の展覧会とは少し異なる鑑賞ができる展覧会となっているのではないかと思います。これを長所と捉えて、次回はもう少し工夫のある会場設営を試みてみたいと考えています。

メンバーの方々は、そ

れぞれのスタンスで研鑽に励んでおられます。地元高松市美術協会主催の美術展に出品し受賞する方も出ています。また、県展入選を果たしたり、個展や地元の文化祭で発表したりしている方もいます。自らの楽しみとして日々筆をとる方もいます。長い時間をかけてコツコツと工芸作品を制作する方もいます。今後それぞれの美術に対する熱い思いが鑑賞者に伝わる支部展を工夫していきたいと思えます。

- 第40回香川支部展
会期 令和5年2月7日
～2月12日
会場 高松市美術館市民
ギャラリー
主催 新構造社香川支部
出品 6名(23点)
本部巡回作品8点
来場 555名



沖縄支部

支部長 平井順光

例年だと夏、秋の各地の祭に合わせて撮影会をしているが今年は早々に『桜』の撮影をする事にした。沖縄の桜『寒緋桜』は12月の末から1月に咲き出す。

毎年、1月15日頃～25日頃に桜の名所の名護城址、八重岳、今帰仁城址で『桜祭り』があり花見客で賑わう。

夏になると県外、外国からの観光客が増えてコロナ感染が心配になるので、春なら少しは安心だと思いましたが、矢張り外国からの観光客は多かった。それでも会員3人での撮影会は楽しい1日を過ごすことができた。

東京支部

支部長 原 尚利

第3回新構造東京支部展は2021年11月2日～11月6日に浅草の隅田公園リバーサイドギャラリーにて、26名の50作品を展示して行われました。浅草散策もできる会場で、会期中に浅草のスケッチ会も行われました。多くの方々にご高覧いただきありがとうございました。

第4回新構造東京支部展は、前回と同じ浅草の隅田公園リバーサイドギャラリーにて、2023年3月5日(日)～3月11日(土)実施します。

東京在住、在勤の方の絵画・版画・彫刻・工芸・写真の作品を公募して

ます。お気軽に参加していただける展覧会を目指しておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



作家の軌跡



浦尾 智絵子
(絵画部 委員)

明日へ

私が初めて新構造展に出品したのは、埼玉県の中学校美術教師として勤め始めた22歳の時でした。当時は友人達も教師をしながら展覧会に出品していたので、毎年上野の美術館で友人の作品を見てまわるのが楽しみでした。新構造展には姉も出品していましたのでよく見に行っていました。会場で徳山先生を中心に若い出品者達が熱く語り合ってる活気ある様子に心動かされていました。初出品の作品は二階奥の二段掛けで当時は出品者数も多く、壁にぎっしり作品が展示されて賑やかでした。

姉と一緒に埼玉支部展にも出品していました。その後結婚して茨城県へ移り新構造展への出品は続けていましたが、小さい子供がいて、学生時代から出品していた女流展の方は続けることが出来ませんでした。

そんな折、西野先生から茨城支部展にと声をかけて頂き、とてもうれしかったことを思い出します。支部展、合評会、写生会に参加し支部の人達の力強い個性のある作品に刺激を受け、人物中心の作品を描いていましたが、もっと密度の濃い絵を描きたいと思いました。

2004年、主人が南米に行くことになり、私も新構造を2年間休会して一緒に出かけました。日本から遠く離れ地球の裏側にあるアルゼンチンのブエノスアイレスです。古い町並みや街の色彩を変えるほどの強い陽射、



花を積む少女



ブエノスアイレスのカフェ

バンドネオンやタンゴの調べが耳に入り、タンゴを踊る人が現れたりで驚きばかりでしたが、すぐに治安の悪いことにも驚き、スケッチブックやカメラを持っての一人歩きが出来ないことを知りました。なので部屋に戻ってからスケッチブックを開いていました。週末は主人と高速バスで郊外へ出かけ、見渡す限り広がるパンパと呼ばれる大草原の中、大きな太陽を背に家路に向かう女性の姿をバスの中から描くことが出来、今も時々出してはあの感動を思い出しています。あの経験にイメージを入れ、描きためていたスケッチを見ながら作品にすることもあり、思い出深い経験でした。

もう一度訪れたいと思っているところ、コロナで旅行もできなくなってしまいました。この先地球の裏側までの長い時間をかけての旅行は無理でしょう。

初出品から今日まで2回休会していますが、今日まで続けることが出来たのも支部の方達にお世話になってのことと思います。もう少し描いていければと願っております。



明日へ

理事会・合同委員会報告

令和4年 第5回理事会

1. 日時 令和4年7月20日(水)13時00分～15時10分
2. 場所 新構造社 浅草事務所
3. 出席者 理事19名(委任状含む) 監事 2名
4. 報告事項 事務局より
5. 議決事項

第1号議案	退会者承認の件	承認
第2号議案	第94回展覧会業務補足について	承認
第3号議案	第94回展審査業務について	承認
第4号議案	中間決算報告	承認
第5号議案	その他	承認

以上の議事を確認のうえ理事会を終了した

令和4年 第6回理事会

1. 日時 令和4年10月19日(水)13時00分～15時00分
2. 場所 新構造社 浅草事務所
3. 出席者 理事19名(委任状含む) 監事2名
4. 報告事項 事務局より
スケッチ会について
ガラス絵講習会について
外部賞申請について
5. 議決事項

第1号議案	退会者承認の件	承認
第2号議案	第94回展審査員選任の件	承認
第3号議案	巡回展の件	承認
第4号議案	長野支部長の件	承認

その他、春季小品展、画集について確認し理事会を終了した

令和4年 第7回理事会

1. 日時 令和4年11月16日(水)13時00～15時30分
2. 場所 新構造社 浅草事務所
3. 出席者 理事17名(委任状含む) 監事2名
4. 報告事項 事務局より
第94回展出品状況
審査員の状況
5. 議決事項

第1号議案	退会者承認の件	承認
第2号議案	役員選出メンバーの決定	承認
第3号議案	台湾文化会への協賛依頼の件	承認

その他、再検討事項を確認し理事会を終える

令和4年 第8回臨時理事会

1. 日時 令和4年12月2日(金) 13時～13時15分
2. 場所 国立新美術館 3階 研修室
3. 出席者 理事15名 監事2名
4. 報告事項 特になし
5. 議決事項

第1号議案	昇格者確定の件	承認
第2号議案	巡回展作品承認の件	承認

以上の議事を確認し臨時理事会を終える

令和4年 第9回理事会

1. 日時 令和4年12月21日(水)13時05～17時00分
2. 場所 新構造社 浅草事務所
3. 出席者 理事20名(委任状含む) 監事1名

4. 報告事項 理事立候補者のまとめ
第94回展の総括
昇格者の確定
巡回作品の確定
支部長会議の報告

5. 議決事項

- | | | |
|-------|-------------------|----|
| 第1号議案 | 退会者承認の件 | 承認 |
| 第2号議案 | 第11期業務報告 | 承認 |
| 第3号議案 | 第12期事業計画 | 承認 |
| 第4号議案 | 台湾協賛事業 | 否決 |
| 第5号議案 | 令和5年3月までのスケジュール確認 | 承認 |
| 第6号議案 | 第94回展ポストカードの件 | 承認 |

その他、細かい事柄を確認し理事会を終了した

令和5年 第1回理事会

1. 日時 令和5年1月23日(月)11時08分～13時40分
2. 場所 東京文化会館 4階 中会議室
3. 出席者 理事19名(委任状含む) 監事2名
4. 報告事項 選挙管理委員会の報告
5. 議決事項

第1号議案	退会者承認の件	承認
第2号議案	第11期決算報告	承認
第3号議案	第12期予算	承認
第4号議案	第11期社員総会のけ件	承認
第5号議案	その他	承認

その他、細かい修正事項などを確認し理事会を終了した

令和5年 第1回合同委員会

1. 日時 令和5年1月23日(月)14時07分～16時37分
2. 場所 東京文化会館 4階 中会議室
3. 出席者 理事14名 監事2名 委員12名
4. 報告事項 第94回展出品人員構成、出品数、展示の報告
入場者数、画集売り上げの報告
5. 議題 第94回展 評価、改善点

新社員・審査員資格者について

◎令和5年絵画部新審査員資格者

次の7名の方々が会員推薦後15年を経過し社員となりました。合わせて審査員の有資格者になりましたので審査員名簿に登録いたします。

なお履歴や名刺等に役職としてご使用されても差し支えありません。

吉野 實(埼玉) 多和 靖展(埼玉)
谷口万起子(大阪) 前沢 宮内(千葉)
岩井 雅義(埼玉) 湯浅ふさ子(千葉) 既社員

◎絵画部 委嘱審査員の選考について

新構造展本展の審査は、審査員名簿に登録された審査員有資格者の中から毎回、審査委員会による投票で10名が選出されます。選ばれた方は、本部より改めて『審査員委嘱状』を発送いたしますので、当該年度の審査員として審査会に出席いただき、外部審査員や常任審査員等とともに審査に当たっていただきます。



会費等のお知らせ

◎年会費について

1.2023年度の年会費は下記のとおりです。

- *理事、監事 70,000円
 - *委員 65,000円
 - *特別顧問、顧問 50,000円
 - *会員 50,000円
 - *準会員 35,000円
 - *会友 30,000円
 - *休会者 上記資格別金額の半額
- *二部門に所属されている方は、従とする部の会費は半額です。
- *画集掲載は、全員掲載とし、画集費用は年会費で賄います。従って、画集掲載の有無及び不出品の場合でも上記金額となります。

2. 休会について(定款第10条・運営規程第12条)

- *休会を継続する場合を除き、**新たに申請する場合は4月末日(基準期日)までに理事会に申請し理事会の承認を受けてください。**
- *上記新規申請後に**当該年会費の半額を必ず、納入してください。**

3. 納入について

- *今年度からゆうちょ銀行払込書等による送金手数料は下記の振込の仕方により無料となります。
- ① {振込の仕方} ATMで「通帳またはカードにより」口座からの引き落とし(振替)で振込してください。
- ② {窓口およびATMで現金を払出して振込む(現金で振込)場合} 送金手数料が発生します。
- ③ゆうちょ銀行の口座がない方は新規の口座を作り上記①の対応をしてください。
- ④ゆうちょ銀行口座間の電信払込みも引き続き推奨します。

4. 納入期限 令和5年4月末日(運営規程第42条)

- この期限は会の運営上厳守願います。
- *払込取扱票の通信欄の絵画部等の所属部門、会員等の資格、年会費に必ず○印を付してください。

5. その他

- *払込取扱票を紛失した場合は、ゆうちょ銀行に備えてある用紙を使用し、上記の要件を記載し払い込んでください。

振込口座番号00120-4-766521

一般社団法人新構造社

- *振込を重複しないよう、振込の控えを必ず保管してください。

お問合せ先 会計理事 小林満風(090-4835-5505)

【弔意】(令和3年12月1日~令和5年1月31日)

下記の会員諸氏が永眠されました
謹んで哀悼の意を表します

松田 悦子氏(福岡県福岡市早良区)名誉会員(絵画部)
古峰 昌子氏(埼玉県加須市)写真部会員

会員動向2021~2023年度分

(2021年12月1日~2023年1月31日迄)

退会者

2023年1月31日現在

部	資格	氏名	時期(届)	理由
工芸	会友	葉室公美子	2021.12.15	高齢
工芸	会員社	寺崎宏光	2021.12.31	一身上都合
写真	会員	白石荘	2021.12.31	高齢
写真	会員	松村昌彦	2021.12.31	体調不良
絵画	会員社	飛田洋一郎	2021.12.31	体調不良
写真	会員	森島一起	2021.12.31	一身上都合
絵画	会員	後藤佐代美	2021.12.31	一身上都合
絵画	会員	岡村美枝子	2021.12.31	一身上都合
絵画	会友	松本悦子	2022.1.7	一身上都合
絵画	会員	鈴木きよ子	2022.2.1	体調不良
写真	会員	古峰昌子	2022.2.13	死去
絵画	会員社	高橋勲	2022.2.28	一身上都合
絵画	会員社	阿部勲雄	2022.3.31	一身上都合
絵画	会員社	遠藤きよ子	2022.3.31	一身上都合
絵画	準会員	滋野敏子	2022.3.31	一身上都合
絵画	会員社	谷口淑子	2022.3.31	一身上都合
絵画	会員	鹿子木小夜子	2022.3.31	一身上都合
工芸	準会員	阿部美穂	2022.3.31	一身上都合
絵画	会員	鈴木紀郎	2022.4.1	体調不良
写真	準会員	柴崎郁三	2022.4.1	一身上都合
絵画	会員	堅田芳	2022.4.20	一身上都合
絵画	会員	藤川豊晴	2022.4.21	体調不良
絵画	会友	遠藤徹	2022.4.21	体調不良
絵画	会員社	和田信子	2022.5.5	一身上都合
絵画	会員	濱田利子	2022.5.6	一身上都合
絵画	会員	大島靖江	2022.5.20	体調不良
絵画	名誉会員	松田悦子	2022.5.22	死去
絵画	準会員	加地みどり	2022.6.7	介護
写真	会員社	萩谷恭子	2022.6.8	体調不良
写真	会友	庵地紀子	2022.6.9	体調不良
版画	会員	中田シズエ	2022.6.10	一身上都合
写真	会友	佐藤トミヨ	2022.6.30	一身上都合
絵画	会員	中石梢	2022.7.1	体調不良
絵画	会員	尾山七夕	2022.8.4	体調不良
絵画	準会員	木嶋和子	2022.8.31	体調不良
絵画	会員社	玉村記美子	2022.9.3	体調不良
絵画	会員	西舘勝義	2022.10.19	一身上都合
工芸	準会員	門目昌弘	2022.10.31	一身上都合
絵画	準会員	佐藤重次	2022.11.1	一身上都合
写真	会友	小松朗	2022.11.1	一身上都合
写真	会員社	青木忠昭	2022.11.30	体調不良
絵画	会員社	柳沢文子	2022.12.30	一身上都合
絵画	会員	橋詰真由美	2022.12.31	一身上都合
絵画	会員社	田村亮司	2022.12.31	一身上都合
絵画	会員	武田龍太	2022.12.31	一身上都合
絵画	会員社	内田雅敏	2023.1.19	一身上都合
絵画	会員社	内田幸子	2023.1.19	一身上都合
絵画	会員社	小田原朝子	2023.1.20	一身上都合
絵画	会員	新谷香織	2023.1.20	一身上都合
絵画	会員社	谷芳美	2023.1.20	一身上都合
絵画	会員	大月二	2023.1.20	体調不良
絵画	委員社	寺本洋子	2023.1.25	介護
彫刻	会員社	関戸孝子	2023.1.31	一身上都合

地方支部一覧

岩手支部 支部長 梅沢空世	〒 020-0127 岩手県盛岡市前九年 3-19-65 TEL. 019-647-1000
茨城支部 支部長 石山 匠	〒 319-1102 茨城県那珂郡東海村石神内宿 2247-32 TEL. 0292-82-8134
栃木支部 連絡先 鈴木和子	〒 320-0052 栃木県宇都宮市中戸祭町 853-2 TEL. 028-624-3561
埼玉支部 支部長 古川泰司	〒 350-1131 埼玉県川越市岸町 1-48-12 TEL. 049-222-0430
千葉支部 支部長 高橋美奈子	〒 285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 1-3-13 TEL. 043-461-1074
東京支部 支部長 原 尚利	〒 111-0131 東京都台東区千束 1-10-4 TEL. 03-3872-0788
神奈川支部 支部長 瀧川 隆	〒 245-0063 神奈川県横浜市戸塚区原宿 5-31-1-502 TEL. 090-2175-8400
長野支部 支部長 富田信明 代行	〒 381-0102 長野県長野市若穂保科 2371-1 TEL. 026-282-6961
和歌山支部 支部長 濱口憲子	〒 640-8392 和歌山和歌山市中之島 320 TEL. 073-432-1344
広島支部 支部長 益村 司	〒 733-0871 広島県広島市西区高須 4-17-5-2 TEL. 082-527-2117
香川支部 支部長 岡 啓介	〒 761-1706 香川県高松市香川町川東上 899-9 TEL. 0878-79-3901
佐賀支部 支部長 冬野健二郎	〒 845-0003 佐賀県小城市小城町岩藏 3142 TEL. 0952-72-5373
沖縄支部 支部長 平井順光	〒 901-0152 沖縄県那覇市小禄 1474-4-2F TEL. 098-858-8863

第2回 新構造春季小品展(招待状)

第2回
新構造春季小品展

2023年5月7日(日)～5月13日(土)
11:00～18:00 (初日 13:00～最終日 15:00)

東京交通会館 (JR有楽町駅前)
ゴールドサロン (地下1階)

・ 絵画 ・ 版画 ・ 彫刻 ・ 工芸 ・ 写真

お問合せ：一般社団法人 新構造社
〒111-0032 東京都台東区浅草 5-33-1 ☎03-5808-9976



編集
後記

コロナ感染症による行動の制限は三年余となり、私達の全ての行動が制限され大きな影響を受けました。こうした中、会のコミュニケーションの一翼を担う会報の重要性を一段と実感しました。

94回展から会場変更により会期が6月から11月になり会報発刊時期の変更を余儀なくされました。

今後発刊の時期について、各種情報をタイムリーにお伝えするにはどの時期かを試行錯誤してまいります。ご理解をいただきご協力をお願いいたします。(平島)

この会報がお手元に届く頃は桜も満開を過ぎ、新しい季節に向かって根を伸ばし、若葉を茂らしていることでしょう。この度、会報委員を卒業される平島さんには明日へのたくさんの糧をいただきました。心からお礼申し上げます。

会報委員 平島 昭久 大浦 秀尚 小林 満風 加々美 和枝 田辺 直美 本橋 やよい 神保 雅春 小田 悦子